

一般社団法人室内環境学会 2020 年度 第 2 回通常理事会議事録

日 時：2020 年 9 月 25 日（金）17:00～18:30

場 所：オンライン会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、山口 一、篠原直秀、水越厚史、鍵 直樹、三宅祐一、徳村雅弘、
一條佑介、Tin Tin Win Shwe

監事：野口美由貴

オブザーバー：佐藤博

事務局：橋本一浩（事務局長）、萬羽郁子（会計）、中島大介、色摩 操

欠席：小沼ルミ

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 9 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 2020 年学術大会準備状況

一條理事より資料に基づき 2020 年学術大会の準備状況が説明された。シンポジウムのテーマは「環境アレルギーと新型コロナウイルス感染症対策の最前線」に決定。新型コロナウイルスの流行状況に左右されるが、現地開催を前提として準備を進め、オンライン配信も平行して準備していくことで一致した。オンライン配信の手段について以下のような意見が出席者から挙げられた。

- ・ オンライン配信の専用システムは非常に高額なので、Zoom など普及しているツールを使っては
- ・ 自宅はネット回線速度が遅い場合もあるので職場からの接続を推奨すべき
- ・ 予め動画を提出してもらうことも検討

2. 2020 年度永年賞

山口事業委員長より、2020 年度室内環境学会永年賞の審査を行い、アメニティ・テクノロジーへの授与を決定したと報告された。

3. 2020 年度決算報告（暫定）

萬羽会計より 2020 年度第 8 期会計決算（9 月 25 日時点での暫定）が報告された。研究助成金として 100 万円の支出があるが、これは 2019 年度に収入として計上した寄付金 100 万円を年度を跨いで交付したと説明された。また、「室内環境における新型コロナウイルス感染対策 WG」が設立されたため、予算に計上されていなかった WG 活動費を急遽支給したとのこと。

4. 2021 年度事業計画案

関根理事長より 2021 年度事業計画案について、今年度方針を継続する内容で提案され、了承された。

5. 2021 年度予算案

関根理事長より 2021 年度事業予算案が提案された。選挙費用を計上した他、21 年度も新型コロナウイルス感染対策 WG の活動が継続される見込みのため、WG 活動費に 20 万円を計上したとのこと。全会一致で承認された。

6. 新規 WG の設立

関根理事長より新たに「室内環境辞典編集 WG」を設立する旨が提案された。朝倉書店より打診された「室内環境の辞典(仮)」の編集を担当する WG とのことで、全会一致で承認された。

7. 2021 年学術大会準備状況

水越理事より資料に基づき 2021 年学術大会の準備状況が説明された。会期は 2021 年 12 月 2 日(木)～3 日(金)で、京都リサーチパーク(京都市下京区)にて開催予定。山中俊夫大会長および関西支部メンバーにより着々と準備を進めているとのこと。

8. 国立国会図書館「インターネット資料収集保存事業(WARP)」への HP 保存

国立国会図書館から「インターネット資料収集保存事業(WARP)」に室内環境学会 HP を保存したいという要望があったと事務局から報告された。これを許諾し、HP 保存に協力することで意見が一致した。

9. その他

- ・ 事務局より 2020 年 6 月～2020 年 7 月の入会承認者 3 名（法人会員 1 社、正会員 2 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 7 名（正会員 5 名、学生会員 2 名）のリストが示され承認された。
- ・ 会員動向として、2020 年 9 月 25 日時点で正会員 358 名、法人会員 54 社（団体）、学生会員 72 名、シニア会員 10 名であると報告された。
- ・ 名誉会員候補に松木秀明会員、呂俊民会員が推挙され、両会員の意思を確認することとなった。
- ・ 論文賞および査読者賞は現在、選考中。
- ・ 理事長候補選挙に 1 名から立候補があった。
- ・ 学会誌に掲載されたコラムなど査読無しの記事について、学会 HP に掲載することとなった。公表日は学会誌の出版から 1 年後とする。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

徳村雅弘

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

三宅祐一

印

Tin Tin Win Shwe

印

一條佑介

印